

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

日タイの「マイペンライ」理解の比較に見る言語行動の特徴について：

日タイの対人意識についての補強調査から

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-06-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 堀江, インカピロム・プリヤー メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00003307">https://doi.org/10.15084/00003307</a>

# 日タイの「マイペンライ」理解の比較に見る 言語行動の特徴について

—日タイの対人意識についての補強調査から—

日本語教育センター第三研究室  
堀江 インカピロム・プリアー

**要 旨** 従来、タイ人の言語行動を特徴づける言葉として「マイペンライ」を挙げる人は多かったが、それは、一般的に「気にしない」「構わない」等と解釈されてきた。この解釈に沿ってタイ人の「マイペンライ」に接するとき、不快感を覚えたり、怒ったりすることがしばしばあることは、多少なりともタイ人と接したことのある日本人なら知っていることであろう。その原因は、日タイの人々の間で、「マイペンライ」についての理解や解釈に相違があるのではないだろうか。

以上のような疑問を出発点として、1985-88年にタイにおいて収集した「マイペンライ」の実例について、バンコク在住のタイ人にインタビューを行い、その結果は、国立国語研究所報告 111「日本語とタイ語の対照研究Ⅱ『マイペンライ』—タイ人の言語行動を特徴づける言葉とその文化的背景についての考察 その1—」(堀江、1995)において発表した。その後、タイ人に対するインタビューのデータを補う意味で、同様の事例につき、タイ在住のタイ人にもアンケートを、さらに、同様の事例につき、タイに滞在中の日本人にインタビューとアンケートを実施した。その結果の一部については「平成9年度国立国語研究所公開研究発表会 テーマ:言語の対照研究」の予稿集を参照いただきたい。今回の発表は、それらの結果を理解するために必要な日タイの対人意識についての補強調査の一部の紹介である。

**キーワード:** 日本語とタイ語の対照研究、言語行動、マイペンライ、だいじょうぶ、気にしない

## 1. 研究の目的

従来、タイ人の言語行動を特徴づける言葉として「マイペンライ」を挙げる人は多かったが、それについて、調査研究をする者はほとんどいなかった。そして、「マイペンライ」は、日本人にとって、一般的に、「気にしない」「構わない」等と解釈されてきた。この解釈に沿ってタイ人の「マイペンライ」に接するとき、不快感を覚えたり、怒ったりすることがしばしばあることは、多少なりともタイ人と接したことのある日本人なら知っていることであろう。

しかし、タイ人に言わせると、「マイペンライ」とは、たいへんに美しく、優しい言葉だということになる。

例えば、タイに滞在する日本人から、よく聞くのは、「メイドさんが、私の大切なコーヒーカップを割ってしまった。もし、メイドさんが謝ったら、『マイペンライ』(気にしないでもいいのよ)と声をか

けて慰めてあげようと思ったのに、メイドさんの方が『マイペンライ』と言ったので、本当に腹が立った。これでは話が逆ではないか」といった不服である。

果たして、メイドさんは、どんなつもりで「マイペンライ」と言ったのであろうか。本当に、「気にしない」という意味で使ったのであろうか。

また、例えば、タイの日系企業で日本人社員から部下のタイ人が、会議の前にコピーを作るように頼まれたが、うっかり忘れてしまった。タイ人社員が、「マイペンライ。すぐにコピーを取りますから」と答えたら、日本人の上司は非常に怒ってしまった。タイ人社員は、なぜ、そんなに怒られなければならないのか、まったく理解できなかつた、といった話もよく耳にする。

どうやら、日タイの人々の間で、「マイペンライ」についての理解や解釈に相違があるのではないか。この理解の差によって、日タイの人々の間で、摩擦が起きると考えられはしないか。

そこで、日タイの人々の間のこのような理解の相違が、いったい何に起因し、また、それがどのような行き違いを引き起こしているのかを明らかにすることによって、日タイの人々の間のコミュニケーション上の障害の一つを解消する手がかりを見つけられるのではないかと考えた。

これが明らかになれば、タイ人のための日本語教授法の改善にも応用できるし、日タイ間のコミュニケーション・ギャップを多少とも解消することにも役に立つに違いない。そして、この研究を、より発展させれば、さらに、日タイ間の経済、技術、学術、教育等の分野においても応用できると考えて、この調査研究を開始し、進めているところである。

## 2. 研究の方法

国立国語研究所報告 111「日本語とタイ語の対照研究Ⅱ『マイペンライ』—タイ人の言語行動を特徴づける言葉とその文化的背景についての考察 その 1—」(堀江、1995)において、それまでの調査結果の一部を発表したように、先行研究が皆無といってよい状態であったため、"A Preliminary Investigation of Thai and Japanese Formulaic Expressions"(堀江、1985)において、「マイペンライ」の使い方を 6 種類に分類したものを基礎として、さらに、タイのさまざまな小説中に使われた「マイペンライ」を参考にしながら、1985-88 年にタイにおいて収集した「マイペンライ」の実例について、バンコク在住のタイ人 38 人にインタビューを行った。また、このインタビュー結果を検討し、さらに詳しいアンケートを実施し、310 人から回答を得た。これらの調査結果をまとめたのが、上述の報告である。

その後、タイ人に対するインタビューのデータが必ずしも十分ではなかつたので、それを補うため、同様の事例につき、タイ在住のタイ人にもアンケートを実施し、318 人から回答を得た。

さらに、同様の事例につき、タイに滞在中の日本人にアンケートを実施し、376 人から回答を得た。加えて、バンコクとチェンマイに滞在中の日本人 59 人にインタビューを実施した。

### 3. 日タイの対人意識についての補強調査

以下は、従来の調査の結果をより正確に理解するために必要と思われる日タイの対人意識についての補強調査の結果の一部についての紹介である。

回答者データ（タイ人 185 人、日本人 144 人）

#### 1. 年齢

タイ人 (単位:%)

	女性	男性	不明	全体
10代	2.6	0	0	1.6
20代	59.1	38.8	0	50.8
30代	27.8	38.8	0	31.4
40代	9.6	22.4	0	14.1
50代	0.9	0	0	0.5
60代	0	0	0	0
無回答	0	0	100.0	1.6

日本人 (単位:%)

	女性	男性	全体
10代	17.0	7.1	13.2
20代	31.8	25.0	29.2
30代	29.5	19.6	25.7
40代	12.5	14.3	13.2
50代	9.1	23.2	14.6
60代	0	10.7	4.2
無回答	0	0	0

#### 2. 職業

タイ人 (単位:%)

	全体
会社員	61.6
公務員	14.6
教員	0.5
学者	2.7
弁護士	3.2
医師	0.5
自営業	7.0
主婦	0.5
学生	5.9
その他	0
無職	0
無回答	3.2

日本人 (単位:%)

	全体
会社員	22.9
公務員	11.8
教員	9.0
学者	0
弁護士	0
医師	0
自営業	2.1
主婦	10.4
学生	24.3
その他	16.7
無職	2.1
無回答	0.7

## ●アンケート結果の分析

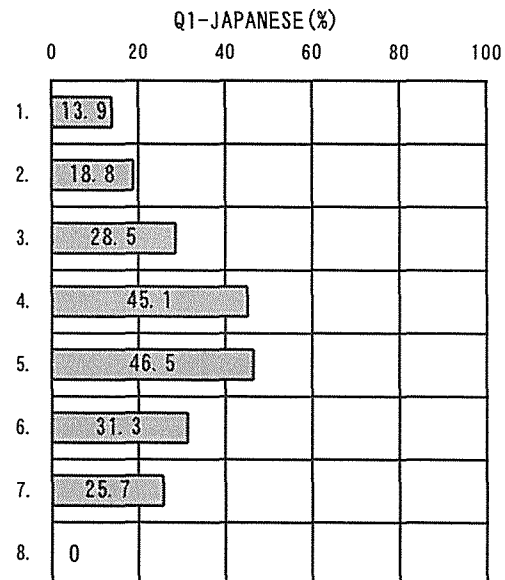
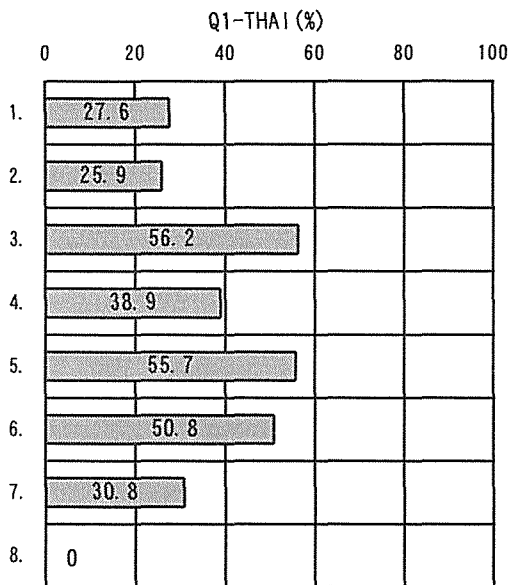
### 1) あなたの親友は、

タイ人 (単位:%)

	全体
1. 子供の時から知っている近所の友人	27.6
2. 小学校の友人	25.9
3. 中学校の友人	56.2
4. 高校の友人	38.9
5. 大学の友人	55.7
6. 同じ職場/アルバイト先/サークル等の友人	50.8
7. その他	30.8
8. 無回答	0

日本人 (単位:%)

	全体
1. 子供の時から知っている近所の友人	13.9
2. 小学校の友人	18.8
3. 中学校の友人	28.5
4. 高校の友人	45.1
5. 大学の友人	46.5
6. 同じ職場/アルバイト先/サークル等の友人	31.3
7. その他	25.7
8. 無回答	0



「親友」という概念についての質問に対する日タイの回答結果を比較すると、最も特徴的なのは、タイ人の場合、子供の時から近所の友人から職場の友人に至るまで非常に幅広い範囲に「親友」がいることであり、日本人の場合、高校の友人と答えた者のポイントがタイ人のそれを上回るのみで、タイ人に比べて日本人は「親友」をもつ範囲が狭く、「親友」と呼ぶべき者が少ないのではないかと想像できる。ただし、「親友」の概念をより厳密に知るための別の項目「あなたにとって親友とはどのような友人ですか」の回答結果を参照しなければならない。

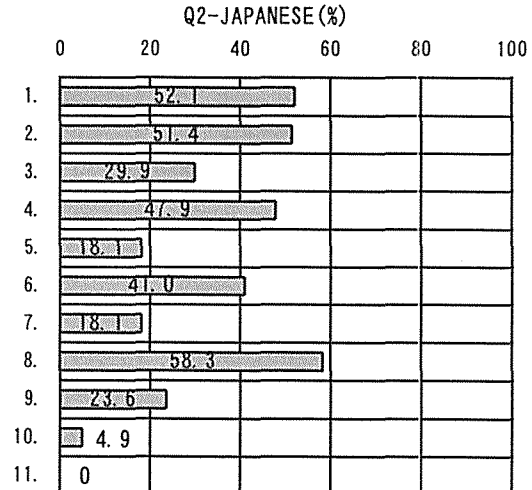
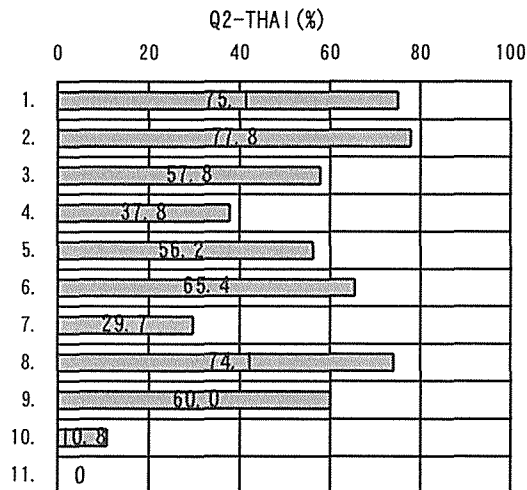
2) あなたにとって親友とはどのような人ですか。

タイ人 (単位:%)

	全体
1.悩みを打ち明けられる友人	75.1
2.自分のことも家族のことも話し合える友人	77.8
3.あまり話さなくても理解してくれる友人	57.8
4.遠慮せず何でも話せる友人	37.8
5.気軽に何でも頼める友人	56.2
6.気を遣わなくてもよく、気楽でいられる友人	65.4
7.言葉使いに気を遣わなくてもよい友人	29.7
8.長い間連絡をとらなくても、お互いの関係が変わらない友人	74.1
9.何でも相談できる友人	60.0
10.その他	10.8
11.無回答	0

日本人 (単位:%)

	全体
1.悩みを打ち明けられる友人	52.1
2.自分のことも家族のことも話し合える友人	51.4
3.あまり話さなくても理解してくれる友人	29.9
4.遠慮せず何でも話せる友人	47.9
5.気軽に何でも頼める友人	18.1
6.気を遣わなくてもよく、気楽でいられる友人	41.0
7.言葉使いに気を遣わなくてもよい友人	18.1
8.長い間連絡をとらなくても、お互いの関係が変わらない友人	58.3
9.何でも相談できる友人	23.6
10.その他	4.9
11.無回答	0



「あなたにとって親友とはどのような友人ですか」という質問に対する日タイの回答結果を比較すると、タイ人はすべての項目において日本人よりポイントが高く、何でも話し合えて、悩みを打ち明けられ、長い間連絡を取らなくても変わらない関係を保てる、といった相手との距離の近さを認識できる者を親友と考えていることが明瞭である。これに比べて日本人の場合は、5.「気軽に何でも頼める友人」はタイ人よりポイントにおいて約 1/3 しかなく、たとえ親友にも気楽に頼み事ができないといった特色がうかがえる。また 9.「何でも相談できる友人」、3.「あまり話さなくても理解してくれる友人」に同様の傾向が見られ、タイ人に比べて日本人の対人距離の遠さを表していると思われる結果となっている。

3) “年長者”または“目上の人”と聞いた時、どのような人を思い浮かべますか

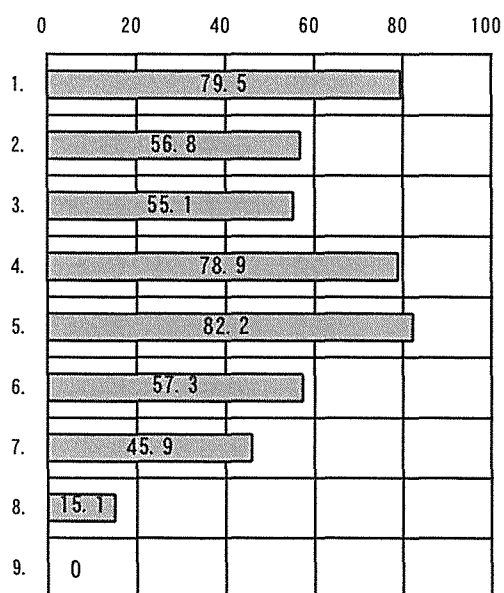
タイ人 (単位:%)

	全体
1.自分の先生	79.5
2.会社の上司	56.8
3.先生一般	55.1
4.友人の両親	78.9
5.自分の両親	82.2
6.両親の友人や知り合い	57.3
7.自分より年上なら誰でも	45.9
8.その他	15.1
9.無回答	0

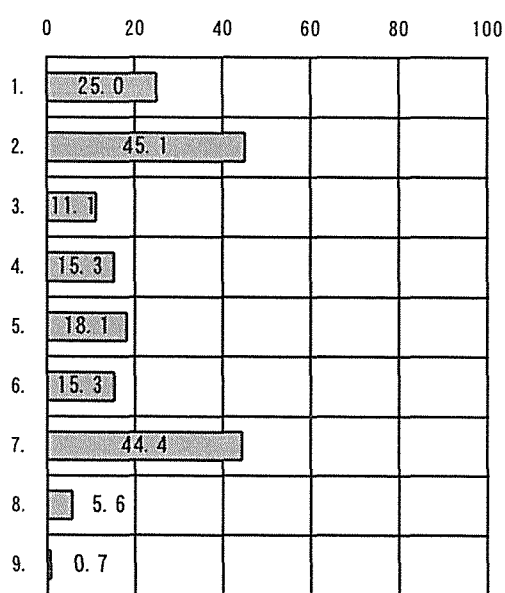
日本人 (単位:%)

	全体
1.自分の先生	25.0
2.会社の上司	45.1
3.先生一般	11.1
4.友人の両親	15.3
5.自分の両親	18.1
6.両親の友人や知り合い	15.3
7.自分より年上なら誰でも	44.4
8.その他	5.6
9.無回答	0.7

Q5-THAI (%)



Q5-JAPANESE (%)



「“年長者”または“目上の人”と聞いた時、どのような人を思い浮かべますか」という質問に対する日タイの回答結果を比較すると、2.「会社の上司」と7.「自分より年上なら誰でも」の2項目がやや近い点を除き、すべての項目はタイ人は日本人よりポイントが3倍以上高い。とりわけ、タイ人は日本人に比べ、1.「自分の先生」、4.「友人の両親」、及び5.「自分の両親」について非常に顕著な高ポイントを示している。このことは、タイ人は日本人に比較して教師や親に年長者または目上と言う概念を強くいだく傾向があることを表していると考えられる。